

950Mz/962Mz

ホイールローダ



※写真は962Mzです。海外仕様機でオプション品を含みます

	950Mz	962Mz
運転質量	18,211kg	19,211kg
エンジン出力	171kW	186kW
バケット容量	3.4m ³	3.6m ³

日本キャタピラー



優れた環境性能を実現

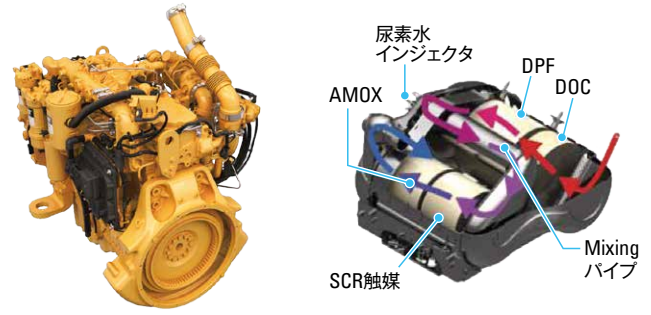
New 生産性を確保しつつ、環境基準をクリア

生産性

- 実績あるC7.1 ACERT™ エンジンを搭載
従来機からエンジン馬力・最大トルクをアップさせ、生産性を高めています

環境性

- 排出ガス後処理システムであるCat®クリーンエミッションモジュール (CEM) は、DOC (酸化触媒)、DPFに加えて尿素SCRシステム関連の機器を追加し、高い規制基準の特定特殊自動車排出ガス2014年基準をクリアしています



C7.1 ACERT™ エンジン

Cat®クリーンエミッションモジュール (CEM)

尿素水の補給・入れ間違い防止対策が向上

尿素水は車両後方の左側部分に位置しています

- 地上から無理のない体制で補給口へアクセスでき、補給が容易に行えます
- 補給口の色は目に留まりやすい青色を採用。チューブ径は細く燃料の入れ間違いを防ぐ設計になっており安心です
- キャブ内のモニターで尿素水残量を常時確認できます
- 尿素水が満タンの90%に達するとアラームが鳴り知らせてくれるので、入れ過ぎを防止できます



尿素水の補給口は車両後方左側

新しい機構による燃費・生産効率アップ

New ロックアップクラッチ付トルクコンバータで燃費効率と走行性が向上

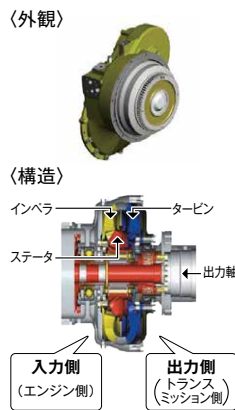
ロックアップクラッチ付トルクコンバータは走行中に一定の条件下でクラッチがトルコンの入力側と出力側を接続し、ダイレクトドライブにする機構です

- トルクコンバータでの動力伝達ロスがなくなり、走行能力と燃費効率が向上します

- 登坂時の速度が維持できます

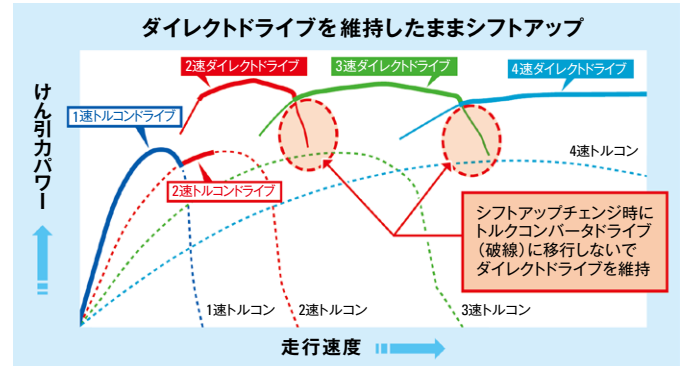
- スムーズなシフトチェンジを維持します

- Lock to Lock機能でロックアップを持続シフトチェンジの切り替えもロックアップが途切れないLock to Lock機能を搭載しています



速度段	可否	ロックアップの条件
1速	×	なし
2速	○	<ul style="list-style-type: none"> 負荷、速度条件にあった時、自動で動作 (2速でのロックアップ設定が必要です) 高負荷で2速トルコンから3速トルコンへのシフトアップが不可能な時
3速~5速	○	速度条件にあった時、自動で動作

※ロックアップを可能にする速度段を2段以上または3段以上に選択できます
※ロックアップ及びロックアップの解除は自動で行われます



Lock to Lock

従来のシフトチェンジではシフトアップチェンジ後に、一旦、トルクコンバータドライブに移行していました。Lock to Lockシフトチェンジでは、シフトチェンジ後もダイレクトドライブを常に維持するので、牽引力低下、加速の損失がなく、優れた加速性能、燃費低減性能を発揮できます

パフォーマンスバケットで生産効率が向上

パフォーマンスバケット

特徴的な弓形サイドバーや広い間口で積み込み性能が向上し、荷こぼれを少なくし効率的に作業ができます



Zバーリンケージ

湾曲した形状なので、比較的低い高さの10tダンプや4tダンプ等への積み込みなどでバケット先端やダンプ荷台上の縁を確実に視認できます



抜群の操作性能でオペレータをサポート

スマートで便利な多機能

1 EHコントロールシステム

従来の油圧パイロットコントロールシステムに比べ、ショートストロークの軽い力で操作が可能です
軽い力で操作できるので、オペレータの疲労を軽減します

FNRスイッチ (前後進中立スイッチ)

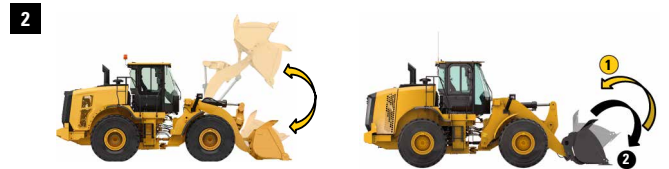
- 親指で容易に操作可能です
- 前後切替時もステアリングから手を放すことがないので安全性が向上します



2 キックアウト (リフト & チルト)

キックアウト機能 (リフト & チルト) は地面や基準位置などあらかじめ設定した位置にすばやく戻すことができます
キックアウトはキャブ内のキーパッドのボタンで有効/無効の切り替えが可能です

- 一定の時間、反復回数を行う場合、オペレータ操作の負担を軽減することができます
- 正確な動作で作業時間を短縮することができます



キックアウト (リフト)

リフト上・リフト下についてあらかじめ設定された位置に戻すことができます

キックアウト (チルト)

ラックバック(①)、ダンプ(②)の両方から所定の位置に戻すことができます

3 ライドコントロール

ライドコントロールは走行速度が一定以上になると、リフトの振動をアキュムレータで吸収し、走行抑制する機能です
キャブ内のキーパッドのボタンでON/OFFの切り替えが可能です

- 従来機では振動を吸収するアキュムレータが1本でしたがMシリーズでは2本になり、より走行性が安定しました
- 走行が安定し、オペレータの疲労を軽減、安全を確保します



New 操作が軽く、直感的なレスポンスを実現するレバーステアリング

EHレバーステアリング

オプション

ステアリングレバーの動きに応じて発せられる電気信号がステアリングコントロールバルブを制御し、ステアリングシリンダに油を送り操作するシステムです
レバーは左右40度ずつ (計80度) の範囲で作動可能です

- 従来の油圧パイロットコントロールシステムに比べ、ショートストロークの軽い力で操作が可能です
- 弊社重量クラス (966K以上) ですすでに好評を得ています



HMUレバーステアリング 標準装備



EHレバーステアリング オプション

EHレバーステアリングの場合、ホイールステアリングとステアリングコラムが無いので前方視認性が向上

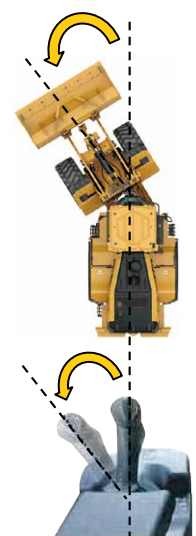
フォースフィードバック (最適な操作力の制御)

車両速度に応じて最適な重さに自動で調整されます
車両速度が速い時はレバーの抵抗は大きく (重く)、遅い時は比較的軽くなるように調整します

レバー角度と車両の動きがシンクロ



操作性に優れたレバー



レバーステアリングの角度と車両のアーティキュレート角度は常に一致します

- レバーの動きとタイムラグ無く車両もアーティキュレートする為、オペレータの操作性が向上します
- レバーを倒した状態でレバーから手を離してもレバーはその場所に留まり、車両もアーティキュレートした状態を保ちます

最先端のテクノロジーで走破性能と生産がさらに向上

New リアルタイムで正確に計量 Cat®ペイロード

Cat®ペイロードは、積載する材料の重さを量る機能です。リアルタイムでモニタ画面にバケット内の重量とトラック積載量が表示され、重量を確認しながら作業可能です。

- 積込み作業を止めることなく計量できるため、作業時間は計量を必要としない積込み作業と変わりません
- 積込み不足が解消され、積載効率を最大化できます
- 過積載を防止できます
比重が異なる材料を積む場合でも、容量に惑わされず正確に計量できます
- 取得したデータは衛星やモバイルネットワークを通してCAT®のクラウドサーバーで管理し、VisionLink®にて過去、現在の状況を確認することができます

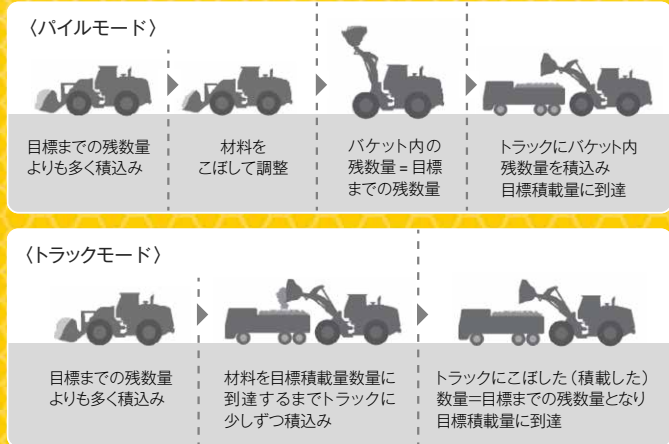
モニタ画面

- 1 トラック積込み台数
- 2 トラック積込み量
- 3 トラック積込み量クリア (ゼロ化)
- 4 目標重量までの残量
- 5 トラックID選択 (登録したトラックIDから選択)
- 6 材料ID選択 (登録した材料IDから選択)
- 7 バケット積載量
- 8 バケット積載量クリア (ゼロ化)
- 9 推定重量
- 10 プリンター (設定している場合)
- 11 システムスタンバイ

Tip-off 機能

Tip-off機能は、最終積込み時の目標積載量に大きな誤差なく合わせられる最適の機能です。従来の方法とは異なり、計量時間が大幅に短縮され、目標どおり正確な積込みが可能です。

パイルモード・トラックモードの2つのモードがあり、オペレータのフィーリングに合わせた作業が可能です。



New デフロックで軟弱な地盤を走破

デフロックは、左右のタイヤのデフをロックし、直結状態にする機能。

左右のタイヤに等しく牽引力を伝え、スリップしやすい状況で牽引力を得ることができます。



- 地盤の緩い場所等の、タイヤが空輪するような状況下で牽引力を発揮します
- 降雪時等スリップしやすい状況下で有用です



マニュアルデフロック (フロント)

フロントマニュアルデフロックが標準装備されています。

左ブレーキペダル脇にあるフロアスイッチを踏むことで作動させます。



オートデフロック (フロント&リア)

オプション

オートデフロックは必要に応じて車両が自動で前後アクスルのデフをロックする機構により自動でスリップが抑制されるシステムです。

面倒な設定が不要で、ストレスフリーで作業に集中することができます。



オートデフロックはモニタ画面で設定

オートデフロックの発動を設定する方法は2通り

- デフロックは掘削など高いトルクがかかる作業中にスリップを防止するためにロックする場合
- タイヤの回転数をモニタリングし、スリップを検出した時にロックを作動させる場合

デフロック作動条件	マニュアル	標準装備	オート	オプション
エンジン	稼働中			
時速	時速20km/h以下			
トランスミッション	ニュートラル、1、2、3速のいずれか			
アーティキュレート角度	-		22度未満	
左ブレーキ	-		0.5秒以上解放	

万全の安全対策

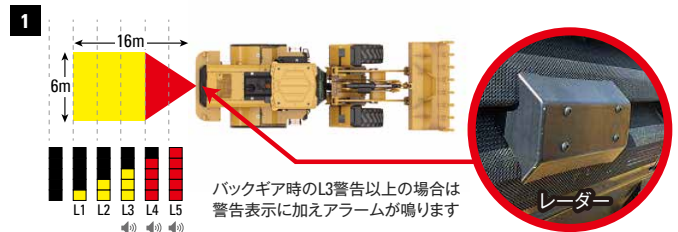
危険を回避し、オペレータと周囲の安全を確保

1 後方障害物検知システム

オプション NEW

後進時に車両後方に障害物があることをオペレータに知らせるレーダーシステムです
バックギア時或いはパーキングブレーキ解除、ギアがニュートラルの時に作動します

警告レベルは車両と障害物との距離によってL1(最も遠い)からL5(最も近い)の5段階です

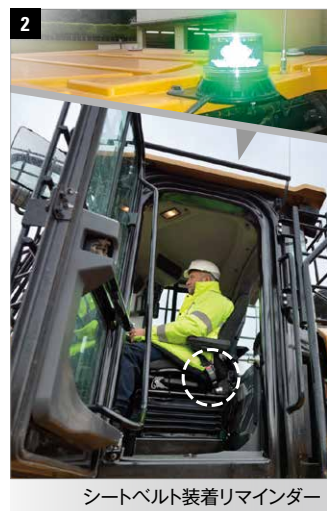


2 シートベルト装着リマインダー (キャブ外LED表示灯)

オプション NEW

オペレータがシートベルトを装着している場合は、キャブ上部の緑色LEDが点灯します

外部からオペレータの装着状況が分かります



3 キャブドアリモート開放スイッチ

NEW

従来、乗降ステップに登った状態で片手を離してドアを開けなければならず、特に降雪の時などは危険でした
今回設置したリモートスイッチにより、地上からドアを開けることができ、安全性が向上しました

4 転落防止ハンドル (キャブ上部)

キャブの窓ふきの際に、キャブ上部のハンドルにつかまれるので転落防止になります



5 熱線入り電動ミラー

熱線により結露時でもクリアな視界を確保できます
ミラーの角度はキャブ内のスイッチでリモートコントロールできます



6 乗降ステップ

角度を緩やかにし、「はしご」からより「階段」に近い感覚で乗降できるようになりました

左側ラダー 10度 → 15度

右側ラダー 4度 → 8度

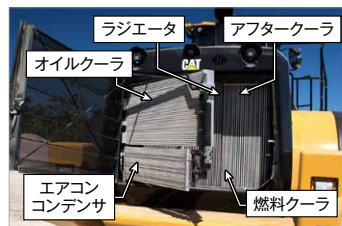
充実のメンテナンス

アクセスしやすく効果的なメンテナンスを実現

1 クーリングコア

クーリングコアは2層構造

手前に位置するオイルクーラとエアコンコンデンサはスイングアウトさせることができ奥に位置するラジエータ、アフタークーラに直接アクセスできる構造です



2 電子制御デマンドファン

気温やエンジン冷却水温等に応じファンスピードを制御

冷却が必要な場合にはファンスピードを増加してオーバーヒートを防ぎます

寒冷時や車両が冷えている時はファンスピードを絞ることでムダな燃費を低減し、騒音の低減、暖気運転を短縮します

3 バリアブルピッチファン (オートリバーシングファン)

オプション

ファンの羽の角度を変えて風向きを吸い込み口から吐き出し、クーリングコアに付着したゴミを外に吐き出します
ファンはクーリングコアの後ろ側に位置しています

ファンの回転を逆回転にするタイプは風量が少ないのが一般的ですが、Cat®のバリアブルピッチファンは十分な風量を確保でき、ゴミをきれいに飛ばせます



車両管理をクラウドサービスでサポート

MY.CAT.COM

「見える化」によって保有機械を一元データ管理

- MY.CAT.COMはお客様が保有する機械情報を総合的に確認・管理することができる、クラウドサービスです
パソコン・タブレット・スマートフォンなどからいつでも確認することができます
- 当該クラウドシステムご利用には申込手続きが必要となります
Cat®車両をご購入・保有のお客様はどなたでも利用可能です
- お客様自身で行っていた保有車両情報をデジタル化する事ができるので、入力作業などの手間が省け効率化に繋がります



突発修理を予防するメンテナンス情報を共有

- 予防メンテナンスでは、日本キャタピラーでの定期メンテナンスの他お客様自身で行うメンテナンスも登録することができます
- メーカーより発信されるリコールやサービス工事情報などをいち早く得ることができます
- メンテナンスやサービス情報を把握することで配車などのスケジュールを組みやすく休車防止にもなり、現場での効率的な使用や車両配備に役立ちます
- PL※ 搭載車は1日1回、車両リストや予防メンテナンスの他アラート(警告など)情報や稼働情報を自動で更新します



※ PL (Product Link™) は携帯/衛星通信網を使った車両遠隔管理システムです

お客様

保有車両リスト

- ▶ 車両リスト一覧管理
- ▶ シリアル/サービスメーター通信状況把握

メンテナンス履歴

- ▶ 過去修理情報
- ▶ メンテナンス・オイル交換実施履歴

PL※ 搭載車両が確認できる情報

アラート情報

- ▶ 車両に発生した即時警告情報等確認

サービスメータ情報

- ▶ 1日稼働時間情報
- ▶ 累積稼働時間情報

(((MY.CAT.COM による情報共有)))

予防メンテナンス

- ▶ 定期メンテナンス実施時期確認
- ▶ 自己メンテナンス登録

リコール等サービス情報

- ▶ 販売店より発信される特定サービス情報確認

位置情報

- ▶ 車両稼働位置確認

燃費情報

- ▶ 1日平均燃費情報
- ▶ 累積稼働燃費情報
- ▶ アイドリング時間情報

PL※ 搭載車両が確認できる情報

日本キャタピラー

VisionLink® Unified Suite

車両管理の他にも生産・施工・安全に関わる現場業務はVisionLink®でタイムリーに総合業務管理が可能

- 機械の稼働状況や運転情報だけでなく、施工管理や生産性安全性の情報を確認・管理することができます
- 施工現場とお客様オフィスをリアルタイムに結び、行き届いたマネジメントをサポートします

ご利用にあたって

- MY.CAT.COMおよびVisionLink®ご利用には利用申込書が必要となります。利用規約に基づきサービスをご提供しております
- VisionLink®のご利用は別途、日本キャタピラーとのCVAサービス契約が必要となります。詳しくは最寄の営業所までお問い合わせください

生産管理

- ▶ 車両サイクルタイム確認
- ▶ 積み込みサイクル状況



生産管理画面

施工管理

- ▶ 施工管理
- ▶ ICT利用による施工履歴情報
- ▶ 出来形管理



施工管理画面

安全管理

- ▶ 車両運行・稼働情報
- ▶ 車両接近情報
- ▶ シートベルト着用情報

安心のサポート体制

無償販売店新車延長保証プログラム

無償販売店新車延長保証プログラムは、延長保証とメンテナンスをセットにした保証プログラムです
このプログラムは特定特殊自動車排出ガス2014年基準適合車を新車ご購入時にご提供します

〈無償〉 販売店新車延長保証

3年又は5,000時間どちらか先に達した期間で、パワートレイン+ハイドロリック+テクノロジーの保証対象に材料又は欠陥品が認められた場合は無償で交換・修理します
※取扱説明書等に示す正しい運転取扱い・点検整備が行われていなかった場合、純正部品並びにキャタピラー社が推奨する油脂類を使用していなかった場合には保証されません

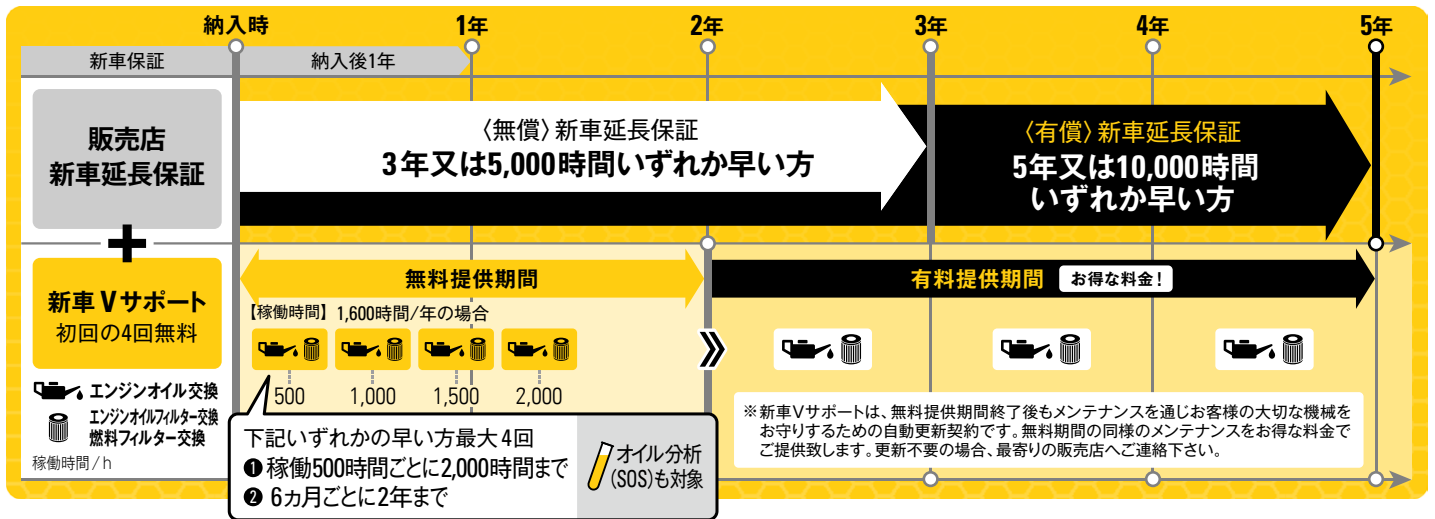
〈無料メンテナンス〉

エンジンオイル、エンジンオイルフィルタ、燃料フィルタ、オイル分析(SOS)を次のいずれか早い方で最大4回交換します

新車Vサポート

- ① 稼働500時間ごとに2,000時間まで
- ② 6ヵ月ごとに2年まで

※稼働が2,000時間未満であっても納車後、最長2年で終了となります ※レンタル用に購入された建設機械にはご提供できません



〈有償〉販売店新車延長保証プログラム

お客様のニーズに合わせて保証期間を延長できます
定期的なメンテナンスを組み合わせることにより突発故障を未然に防ぎ、休車による現場遅延や修理費用を低減することができます
保証期間内の運転経費を定額化する事ができ、高稼働や長期稼働の現場でも安心してお使いいただけます

〈有償〉 延長保証

パワートレイン/パワートレイン+ハイドロリック/パワートレイン+ハイドロリック+テクノロジー/プレミアの4つ保証プランから選べます
最長5年又は10,000時間どちらか先に達した期間内で、保証対象に材料又は欠陥品が認められた場合は無償で交換・修理します
※機種によって加入できるプラン・期間・金額が異なります

保証プラン	パワートレイン	パワートレイン + ハイドロリック	パワートレイン + ハイドロリック + テクノロジー	プレミア
保証対象	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジン及びエンジン構成部品 ● エミッションシステム ● トルクコンバータ/トランスミッション ● ドライブライン/ドライブアックスル ● ステアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジン及びエンジン構成部品 ● エミッションシステム ● トルクコンバータ/トランスミッション ● ドライブライン/ドライブアックスル ● ステアリング ● ハイドロリック/ステアリングシステム 	<p>※パワートレイン+ハイドロリック保証に以下の保証対象を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テクノロジーコンポーネント <ul style="list-style-type: none"> ・リモートコントロールシステム ・ペイロードコントロールグループ ・プロダクトリンクシステム ・VIMS 	保証対象外を除く
保証対象外	<ul style="list-style-type: none"> ● サービスアイテム ● 整備アイテム(点検、テスト、調整、修理交換、リビルト含む) ● その他アイテム <p>バッテリー、CAT®およびコンパクトトラックイクイップメントワークツール、ラバートラックベルト、マシンコントロールおよびガイダンス、タイヤ、サービスツールおよびサブライ、ムービングアンダキャリッジ、GET、ロングライフウエルドオンランドフィルコンパクタプラスチップ、NPK ハンマ、ティンバーキング製品、林業用ワークツール、農業用製品、ガラス、ミラー、レンズ、ラジオ、ミニ油圧ショベル用ラバートラックベルト、コンパクトトラックイクイップマンマシン油圧ラインのクイックコネク/ディスクコネクコンポーネント、シール、ガスケット、ボルト/ナット、ディスクなど一般部品、通常消耗、摩耗部品</p>			

* 詳しくはお近くの営業所にお問い合わせ下さい

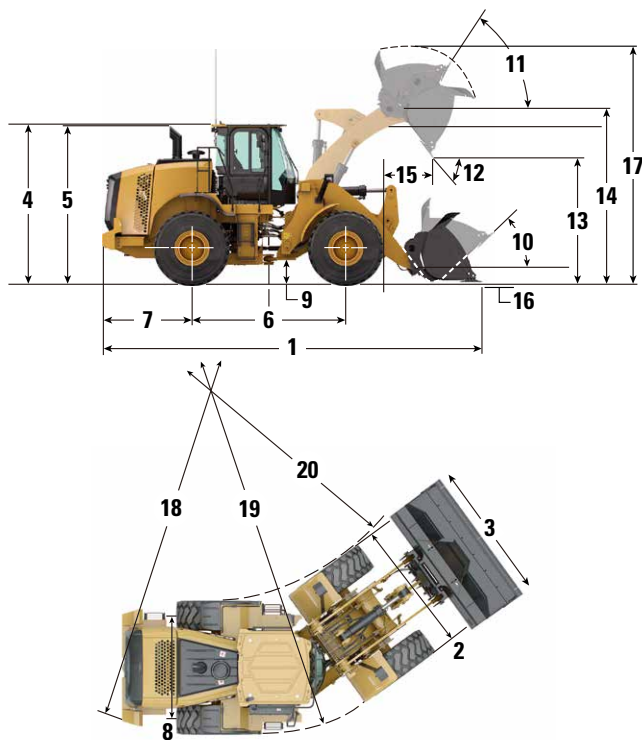
仕様値

		950Mz	962Mz
運転質量	(kg)	18,211	19,211
バケット容量(標準)	(m ³)	3.4	3.6
常用荷重	(kg)	5,700	6,100
最小旋回半径(バケット外側、キャリアポジション)	(mm)	6,702	6,781
エンジン		C7.1 ACERT™ ディーゼルエンジン 4サイクル水冷直列 ターボチャージャー付、アフタークーラ付	
総工程容積	(ℓ)	7.01	
シリンダー数 - 内径 × 行程	(mm)	6 - 105 × 135	
定格出力(ネット)	(kW)	171	186
定格回転数(ネット)	(rpm)	2,100	
排ガス規制適合技術		尿素SCR + DPF	
最高速度(前進/後進)	(km/h)	38 / 25	
ミッション	形式	電子制御フルオートマチックカウンタシャフト	
	速度段数	前進5段/後進3段	
リステア	形式	フレーム屈折式パワーステアリング	
	操向角度(度)	左右 40	
容量	燃料タンク容量(ℓ)	275	
	冷却水(ℓ)	59	
	エンジンオイル(ℓ)	22	
	尿素水タンク容量(ℓ)	16	

装備品 ●は標準装備、○はオプション

		950Mz	962Mz
作業装置	標準リフトアーム	●	●
	ハイリフトアーム	○	○
油圧システム	油圧2バルブシステム	●	●
	油圧3バルブシステム	○	○
	ライドコントロールシステム	●	●
クーリング	コア(6フィン/インチ上限43度)	●	●
	コア(9フィン/インチ上限47度)	○	○
	リバーシングフローファン	○	○
トルコン	ロックアップクラッチ付トルコンパータ	●	●
アクスル	ATデフロック(フロント&リア)	○	○
ステアリング	ホイールステアリング	●	●
	EHレバーステアリング	○	○
テクノロジー	CPM ベイロードシステム	●	●
タイヤ&リム	23.5 R25 ラジアルタイヤ L-3	●	●
	23.5 R25 ラジアルタイヤ L-5	○	○
	23.5-25 バイアスタイヤ L-3	○	○
バケット	ゼネラルパーパス 3.6m ³	○	●
	ゼネラルパーパス 3.4m ³	●	○
	ゼネラルパーパス 3.3m ³	○	○
	ボルトオンカッティングエッジ	●	●

寸法/作業範囲



※すべての寸法・作業範囲は概算であり、バケットの選択により変わります

		950Mz	962Mz
1	全長(mm)	8,154	8,491
2	全幅(車両)(mm)	2,798	2,809
3	全幅(バケット)*1(mm)	2,927	
4	全高(キャブ上端)(mm)	3,445	3,443
5	全高(排気管上端)(mm)	3,414	3,411
6	ホイールベース(mm)	3,350	
7	リヤオーバーハング(mm)	1,905	2,055
8	トレッド幅(mm)	2,140	
9	最低地上高(mm)	368	365
10	ラックバック角度(地上時)(度)	41	45
11	ラックバック角度*2(度)	60	
12	ダンブ角度*2(度)	53	52
13	ダンピングクリアランス*3(mm)	2,791	2,935
14	ヒンジピン高さ(mm)	3,995	4,182
15	ダンピングリーチ*3(mm)	1,371	1,357
16	掘削深さ(mm)	89	90
17	全高*2(mm)	5,529	5,777
18	カウンタウエイト端(mm)	6,702	6,781
19	最外輪外側(mm)	6,051	
20	内輪内側(mm)	3,154	

※1…ボルトオンカッティングエッジ装着時 ※2…最大リフト時 ※3…45度ダンブ時

日本キャタピラー合同会社

(カタログお問合せ先)

〒164-0012

東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー

TEL. 03-5334-5658

FAX. 03-5334-5660

(HPアドレス) <http://www.nipponcat.co.jp>



本機をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み、正しくお使いください
故障や事故などを防止する為、定期点検を必ず行ってください

お問い合わせ先